

モンゴルの子どもたちに体育教育を

7/5 三豊市役所

モンゴルのトゥブ県ゾーンモドに青年海外協力隊として派遣される綾里奈さん(三野町)が市長表敬に訪れ、2年間の任期の意気込みを話しました。綾さんは小中高一貫校で体育教育に携わり、協調性や礼儀作法を指導しながら、子どもたちの健全な育成をサポートします。



ぶどうともものトップセールス

7/6 高松市中央卸売市場

三豊の高品質なフルーツ「ぶどう」と「もも」を、山下市長が生産者の代表と共にアピールしました。競り前には、ピオーネ(ぶどう)、あかつき(桃)という品種の試食が行われ、仲卸業者や関係者に美味しさをPRしました。



栗島でワルリー族のパチンコ作りを体験!

6/22 旧栗島中学校

栗島芸術家村で、滞在作家マユール・ワイエダさんによる「パチンコ作り」ワークショップが開催されました。参加した子どもたちは、作家と野外のワルリー族のパチンコと一緒に作り、完成後は、野外で「当てゲーム」をして盛り上がりしました。



▲作品となる洞窟を作るため、みんなで紙粘土を貼り付けていきます

また、ワークショップ後は、作家の作品制作を手伝いました。



台風シーズンに備える

6/28 仁尾町内

市建設業協会が主催する防災訓練は、洪水や土砂災害など、災害が多くなる台風シーズンに前に、会員相互の連携を強化しようと毎年行われています。今年は、市内から約200人が参加し、土のう作製や土のう積みを行いました。仁尾小学校の3年生も参加し、防災について学びました。



AIとMAIZM展

7/6~15 みとよ未来図書館



▲AIに関するパネルやAI関連のおススメ本を展示



6/9・22・29 プログラミング体験会 in MAIZM



▲1時間ほどで、簡単なシューティングゲームを作った子どももいました

▶問い合わせ MAIZM 東京大学大学院松尾研究室みとよサテライト ☎23-6120

南極の氷に触れ、地球温暖化について学ぶ

6/26 松崎小学校

松崎小学校の全校生を対象に、坂上海上保安署および自衛隊香川協力本部による南極の氷を用いた環境保全教室が行われました。児童は、実際に南極で採取された氷を触り、日ごろ触れる氷との違いを実感。また、南極に住む動物たちを守るために自分たちには何ができるかを学ぶ場面もあり、貴重な体験の中で環境問題について考えることができました。



▲南極への行き方や基地での過ごし方について質問がありました

AIやプログラミングの世界に触れてみよう

4月に財田庁舎に開設したAI拠点となる東京大学大学院松尾研究室みとよサテライト「MAIZM」は、身近でAIに触れてもらおうと、市内でプログラミング教室を開催しています。

大人も参加できる初心者向けのプログラミング体験会では、簡単なプログラミングソフトで命令ブロックを組み合わせて、画面の中のキャラクターを動かしたり、簡単なゲームを作りました。

比地小学校で開催した簡単ロボット教室では、児童が思い思いにロボットを作製。友達と対決をして楽しく遊び、どうしても強くなるのか、みんな工夫していました。



7/4 比地小学校

▲4年生から6年生全員が参加し、夢になった簡単ロボット教室



▲何万年もの年月をかけてきた南極の氷。「気泡がたくさんあってざらざらするね」

県内初の弥生時代の史跡として国指定史跡へ



紫雲山遺跡が国指定史跡になります

このたび、国の文化審議会から6月21日付で紫雲山遺跡を国史跡に指定するよう文部科学大臣に答申が出されました。他地域の土器や石器の存在、遺跡の立地条件などから、瀬戸内海の広域交流において重要な役割を担った集落であったと評価され、国史跡に指定される見込みです。

おめでとうございます



「地域環境美化」功績者 環境大臣表彰

6/20 三豊市役所

父母ヶ浜の海岸清掃や子どもたちとの自然観察会を行っているちびの会が、地域における環境美化の模範として評価され、環境大臣より表彰を受けました。会長の鴨田隆司さんは、受賞の感想を「会員と協力してやることが評価されたことを嬉しく思い、感謝します」と話してくれました。



ふるさとの味でみとよを想う

6/22 東京都内

関東・三豊市ふるさと会主催の「第9回さぬきうどんと親睦の会」が90人を超える参加者で盛大に開催されました。参加者は、うどん体験やふるさと三豊から取り寄せた食材で会員が作った郷土料理を堪能し、会話ははずみ、楽しいひとときを過ごしました。

街中で、音楽を楽しむ♪

6/15・16 マリンウェーブ周辺

今年で3回目となる「まち音楽ぐり」では、2日間で32組のアーティストが演奏や歌声を披露しました。和太鼓やジャズ、ギターの弾き語りなど、さまざまなジャンルの音楽を身近で楽しめる機会とあって、多くの来場者が訪れ、素敵な音色に耳を傾けました。



▲アーティストの「勝詩」さんと、たくまシーマックスのジュニアダンスチーム「オーシャンズ」によるコラボレーション



▲沿道などで開催された瀬戸内シーサイドマルシェには、33店舗が出店し、賑わっていました